
2009年度 第1回 音環境運営委員会 議事録

記録:堀之内

- A. 日 時 2009年5月21日(木) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室#301
- C. 出席者 大鶴 徹、岡田恭明、佐久間哲哉、田端 淳、中澤真司、羽入敏樹、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、宮島徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)
- 欠席者 安藤 啓、井上勝夫、佐藤史明、土田義郎、濱田幸雄(敬称略)
- D. 提出資料
- No.1-0 2008年度 第6回音環境運営委員会議事録(案)(坂本)
- No.1-1 2009年度 音環境運営委員会・委員名簿(田端)

E. 審議事項

審議に先立ち、出席委員の紹介・挨拶があった。

1. 前回議事録確認(資料No.1-0)
 - ・「3. 小委員会活動報告」「固体音小委員会(平松主査)」の2項目を削除
 - ・大会年度の表記ミスなどを修正
 - ・上記以外は承認された。
2. 本年度運営委員会開催スケジュール
 - ・前年度までは原則「環境工学本委員会」(以下:本委員会)に引き続いて行っていた。その場合、出席人数分の本委員会資料コピーを当日準備することが難しいことから、音環境運営委員会開催日程を1週間～10日ほど後にずらしてはどうかなどの意見も出たが、前年度と同じく本委員会に引き続いて行うことで了承された。
 - ・本年度の開催日程は以下の通り。
第2回 7月30日(木)、第3回 9月25日(金)、第4回 11月18日(水)、第5回 1月22日(金)、第6回 3月16日(火)
3. 組織と名簿の確認
 - ・名簿の所属の変更を確認し、修正した。
 - ・企画刊行運営委員会下の「都市・建築空間における音声伝送品質評価規準刊行小委員会」「音環境の数値シミュレーション刊行小委員会」、若手奨励特別研究委員会「汎用 CAE オープンソースソフトウェアを核とした建築音響数値解析環境の整備」を組織図に追加。(資料No.1-1)
4. 環境工学本委員会(2009.5.21)報告(田端主査)
 - ・ 2009年大会(東北)について、環境工学では1235件の発表(前年比59件増)。大会梗概の取り下げ手続きについて説明があった。電子投稿において締切間際の投稿でミスがあったとの報告がなされた。
 - ・ 同大会のオーガナイズドセッション「床衝撃音の評価方法」について、投稿が6件あった。
 - ・ 同大会の非公式行事を予定している委員会は、7/10までに申し込む。
 - ・ 『提言「建築分野の地球温暖化対策ビジョン2050」(案)～建築のカーボン・ニュートラル化を目指して～』について、「カーボン・ニュートラルの定義がはっきりしていない」などの意見があった。その他、意見のある委員はメールで事務局まで。(期限:6月19日)
 - ・ 「委員会予算執行システムの再構築に向けた問題提起」について報告があった。シンポジウムの独立採算制の観点から、シンポジウムの前後日に小委員会を開催するのは問題との指摘が税務当局からあったとのこと。
 - ・ 2009年大会(東北)研究協議会について、音環境からは「高齢社会の環境・設備—ユニバーサル環境デザインに向けて—」に土田先生(金沢工大)がパネリストとして参加、「建築環境のシミュレーション技術と将来展望」に大嶋先生(新潟大)が主題解説の予定。
 - ・ 同大会懇親会について、環境工学研究者名簿の情報を元にメールで案内。
 - ・ 環境工学用教材は、今年度中に出版予定。
 - ・ アカデミックスタンダード刊行について、残部が問題になっているケースがあり、予定販売部数が少ない場合は電子媒体による提供も検討されている。また、音環境に関する2件について進捗状況の報告があった。
 - ・ 「調査研究関係専門委員会運営に関する共通規定」について、委員会の組織構成(第3条)、設置期

間、委員の公募、委員数の上限(以上第6条)、委員の任期、兼任数の制限(以上第7条)などについて確認された。

- 環境工学者研究者名簿データを利用する際の手続きについて確認された。
- 日本学術会議より「研究の現場において研究を進める上で支障になっている事項について」照会があった。意見のある委員はメールで事務局まで。(期限:5月25日)

5. 環境工学用教材について

- 環境工学用教材・環境編および設備編改訂の作業について、5/11に坂本先生より全委員宛に下記内容のメールがあった。
 - ◇ 音環境分野の執筆委員は、濱田先生(日大)、佐藤先生(千葉工大)、川井先生(熊本大)、富田先生(日大)、稲生様(永田音響)、坂本先生(東大)
 - ◇ 改訂の原稿を添付。
 - ◇ 教材委員会ではなるべく早期に改訂する方向で話が進められており、7月には最終的な原稿の完成がスケジュールされている。
 - ◇ それまでに運営委員会の了承を得ることが求められているため、意見を出してほしい。
- 事前に、平光委員より「床衝撃音」に関してメールで意見があった。
- 吉村委員より現在一般に使用されているNC曲線のバージョンに関して意見があった。
- 原稿提出に間に合うようであれば、次回委員会(7/30)で再度審議。間に合わないようであればメール審議。

6. 企画刊行運営委員会「低周波騒音」の委員について

- 低周波音問題刊行小委員会(主査:石川先生)から、音環境運営委員から委員一名推薦の要請があった。
- 同委員会には、既に音に関しても詳しい委員がいることから、委員要請の主旨を再確認して検討することとした。

7. 小委員会・WG活動報告

固体音小委員会(中澤主査)

- 3月19日に第64回音シンポジウム「床衝撃音の測定・評価法」を開催した。
- 委員公募に3名の応募があった。
- 本年度第1回委員会は6月12日に開催予定。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査)

- 3月26日に委員会を開催した。3月19日に開催された音シンポジウム「床衝撃音の測定・評価法」で話題になった事柄について意見交換を行い、また、最近の判例をもとに、学会規準のあり方についてフリートークを行った。
- 今後の具体的活動としては、集合住宅の遮音性能は暗騒音の影響を考慮する必要があることから、データ収集、場合によっては現地調査を行う予定。
- 次回開催は5月22日の予定。

建築音響測定法小委員会(宮島主査)

- 6月3日に第1回委員会を開催予定。
- 2名の委員公募に対して2名の応募があった。

室内音響小委員会(羽入主査)

- 3月27日に第65回音シンポジウム「室内音響における”拡散”研究の最近の動向と今後の展開」を開催した。参加者128名と盛況であった。
- 本年度は主査が交代し、新委員で活動する。5月22日に第1回委員会を開催予定。
- 6月19日に第66回音シンポジウム「スピーチプライバシをとりまく現状と課題」を開催予定。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- 2009年4月より2013年3月の期間で活動を継続することになった。2名の委員公募に対して、2名の応募があった。
- 小林理研・試験室の測定を行い、吸音を有する室のベンチマーク問題を作成。ベンチマークHP(AIJ-BPCA)に反映の予定。
- 関連する若手奨励特別研究委員会として、大嶋先生(新潟大学)を主査とする「汎用CAEオープンソースソフトウェアを核とした建築音響数値解析環境の整備」が立ち上がった。

企画・広報WG(峯村委員)

- 5月20日に第1回委員会を開催した。
- 委員は昨年度までのメンバーが主体である。

音環境アカデミックスタンダードWG(平松主査)

- 6月5日に第1回委員会を開催予定。

- 遮音性能基準と集合住宅遮音設計指針のアカデミックスタンダードの素案を作成するSWGを2つ立ち上げ、集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会、建築音響測定法小委員会と連携して具体的な作業を行う予定。

8. 他学会の予定

- 日本音響学会・建築音響研究会 5/27 千葉工業大学 津田沼キャンパス
 6/22 別府国際コンベンションセンターB-Con Plaza
 日本音響学会・騒音振動研究会 6/26 防衛施設周辺整備協会（駐健保会館）
 7/17 北海学園大学工学部 山鼻キャンパス

9. その他

- 特になし

10. 次回の予定

- 次回は2009年7月30日(木)17:00～ 建築会館・会議室

2009年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2009.5.21(木)	実施
第2回	2009.7.30(木)	(決定)
第3回	2009.9.25(金)	
第4回	2009.11.18(水)	
第5回	2010.1.22(金)	
第6回	2010.3.16(火)	